



# 大阪対がん協会報

2015年8月号

公益財団法人 大阪対がん協会

〒530-8211 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞社内  
(中之島フェスティバルタワー 15階)

TEL 06-6201-8029 FAX 06-6201-8615

E-mail : office@osakacancer.jp HP : http://www.osakacancer.jp

## 9月は「がん征圧月間」です

9月はがん征圧月間。1960年に定められ、がん知識の普及と予防、早期検診などを呼びかける催しが各地で繰り広げられます。今年のがん征圧スローガンは「健康が 自慢のあなたも がん検診」です。

4日には群馬県の前橋市民文化会館で「2015年度がん征圧全国大会」が開かれます。10月も引き続き普及・啓発のための多彩な取り組みが開催されます。本号では大阪対がん協会が主催するイベントと秋の検診をご紹介します。お時間があればお出かけいただき、がんを知る機会とされてはいかがでしょうか。



### 2015年度 役員・評議員名簿

2015年8月1日現在

#### 【理事】

- (会長) 堀 正二 大阪府立成人病センター名誉総長
- (副会長) 塩崎 均 近畿大学学長
- 松浦 成昭 大阪府立成人病センター総長
- (専務理事) 神崎 正雄 業務執行理事
- (理事) 阿部 孝次 関西経済連合会理事
- 荒川 哲男 大阪市立大学医学部長
- 上西 洋二 阪喉会理事長、日本喉摘者団体連合会副会長
- 左近 賢人 大阪府立成人病センター病院長
- 辻 恵美子 がん患者サポートの会ぎんなん代表
- 豊田百合子 大阪保健福祉専門学校副校長、大阪府看護協会顧問
- 森井 英一 大阪大学病理学教授

#### 【監事】

- 野崎 篤彦 日本生命済生会理事長
- 平安 宏充 公認会計士、税理士

#### 【評議員】

- 石崎 勝義 元大阪対がん協会専務理事
- 大平 真司 大阪府医師会理事
- 奥野 清隆 近畿大学医学部附属病院病院長
- 小倉 剛 大阪府結核予防会顧問
- 加藤 菊也 大阪府立成人病センター研究所疾患分子遺伝学部門長
- 木下 博明 矢木脳神経外科病院名誉院長、大阪市立大学名誉教授
- 高杉 豊 大阪府保健医療財団理事長
- 田中 京子 大阪府立大学看護学部教授
- 谷川 允彦 谷川記念病院理事長・院長、大阪医科大学名誉教授
- 遠山 正彌 大阪府立病院機構理事長、大阪大学名誉教授
- 中野 秀男 帝塚山学院大学ICTセンター長
- 濱本 満紀 がんと共に生きる会副理事長・事務局長
- 福原 毅 大阪府病院協会会長、生長会会長

# がん検診はなぜ必要か？

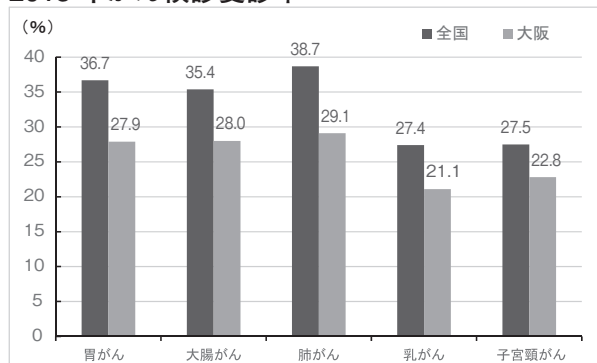
欧米は、がんによる死亡が減少傾向にあります。日本では依然としてがんは増加傾向にあります。これは、がん検診の受診率の差によると考えられています。米国のがん検診率は約80%ですが、日本の受診率は30%程度で低いからです。がん検診の普及によって、米国では、1990年代前半からがん死亡率が減少してきています。

がん検診の目的は、がんが進行していない初期の段階で発見し、がんによる死亡を減少させることにあります。早期がんであれば、ほとんど完全に治癒させることができるからです。したがって、症状のないうちにがんを発見することが大切なのです。がん検診は科学的な方法によって、がん死亡率の減少が認められている胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんの5つのがんを判定する検診です。したがって、がん検診で異常が見つからなかったからと言ってすべてのがんがないことが保証されたわけではありません。胃がんは胃X線透視検査または胃内視鏡検査(来年から)、肺がんは胸部X線検査、大腸がんは便潜血検査、乳がんは視触診とマンモグラフィ検査、子宮がんは子宮頸部細胞診が1次検診として行われ、異常があれば、それぞれ精密検査(2次検診)を行うことが、奨められています。1次検診は身体に負担の少ない検査ですので、がん対策はまず「がん検診」を受診することから始めるのが肝要です。大阪対がん協会は、がん検診の知識普及のために小冊子「進め、がん防衛隊」(A6版39ページ)を発行しています。ご希望の方は、大阪対がん協会事務局までお申し込みください。

(会長 堀 正二)

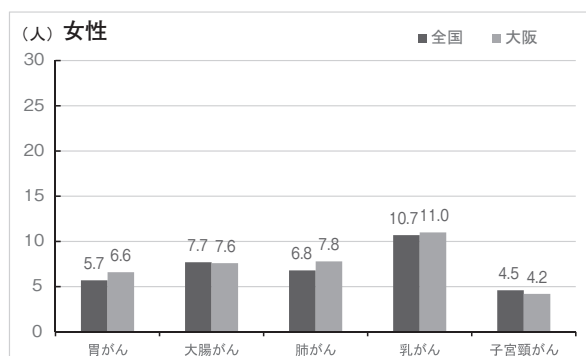
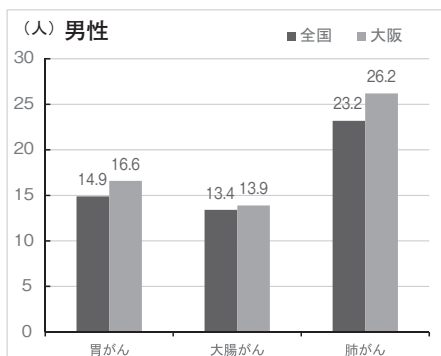
## 大阪府の現状

2013年がん検診受診率(40歳以上、子宮頸がんは20歳以上)



大阪府の  
がん検診受診率は、  
どのがんも  
低い  
状況です。

2013年部位別75歳未満年齢調整死亡率(人口10万人当たり)



## イベント情報

(いずれも参加料は無料ですが、応募多数の場合は抽選とさせていただきます)

### 「がん予防キャンペーン大阪 2015」

☆正しく知ろう！子宮がん検診・乳がん検診と最近の治療法

第1部 3氏による講演 第2部 4氏による総合討論

日時 10月3日(土) 13時～16時

場所 ドーンセンター (大阪府中央区大手前1-3-49)

主催 大阪府、大阪市、大阪対がん協会など11団体

申込 同封のチラシをご覧ください

### 「ピンクリボンフェスティバル 2015」 関西セミナー

☆乳がんのために、ひとりぼっちで泣かないで。

—最新治療と心のケア—

乳がん・婦人科・精神腫瘍医の講演とゲスト対談

(ゲストは漫画家・エッセイスト柴門ふみさん)

日時 10月18日(日) 13時～16時30分

場所 グランフロント大阪 北館4階

ナレッジシアター(大阪市北区大深町3-1)

主催 日本対がん協会、大阪対がん協会、朝日新聞社

申込 同封のチラシをご覧ください

### 「がん看護セミナー」

☆がん患者の退院から在宅ケアまで

第1部 基調講演 松浦 成昭氏(大阪府立成人病センター総長)

第2部 5氏によるシンポジウム

日時 10月25日(日) 14時～16時

場所 朝日新聞アサコムホール(大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー12階)

主催 大阪対がん協会

申込 同封のチラシをご覧ください



## 理事会、評議員会から

2014年度の事業報告と決算が5月26日の理事会と6月18日の評議員会で承認されました。2013年度(前期)の正味財産の増減は前年から約330万円の増加となりましたが、2014年度は約17万円の減少となりました。経常費用は約120万円の削減をすることができましたが、寄付額の減少が大きかったことが正味財産減少の原因です。

# 秋のがん検診 10月～11月に実施

申し込みは10月9日(金)まで

- 検診機関 大阪府医師会保健医療センター  
〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町19番14号
- 検診期間 10月1日(木)から11月30日(月)まで
- 申込期間 9月1日(火)から10月9日(金)まで
- 検診項目 (料金は、いずれも消費税等を含みます)

## 胃 部

X線直接撮影 (8,000円)

◎午前を受診の方 前夜の夕食は午後9時頃までに摂り、就寝までお茶等は摂れません。検査当日の朝は絶飲食(禁煙)が原則ですが、喉が渇く場合は、午前7時頃までコップ半分程度のお水は摂れます。

◎午後を受診の方 当日の朝は午前8時頃までに食パンとレモンティー(砂糖抜き)程度を摂ってください。それ以降は絶飲食(禁煙)です。

## 肺 部

X線直接撮影 (2,000円) 喀痰細胞診 (3,000円)

胸部ヘリカルCT (8,000円)

## 乳 腺

視触診 (2,000円)

視触診+乳腺超音波 (39歳以下) (5,000円)

視触診+マンモグラフィ2方向 (40歳代) (6,000円)

視触診+マンモグラフィ1方向 (50歳以上) (5,000円)

乳がん検診関連学会の基準により、年齢に応じ、超音波(エコー)又はマンモグラフィをお勧めいたします。

## 子 宮

子宮がんを主とする細胞診

頸部 (3,000円) 頸部+体部 (7,000円)

## 大 腸

免疫学的便潜血反応 (1,500円)

お申し込み受付後に送付する検便キットを、採便後、当センターまでご持参いただく形式となります。

### ◎人間ドックのお勧め

各種のがん検診を始め、生活習慣病検診をセットにした人間ドックを実施しております。午前中の半日ドックAコース・半日ドックBコース、レディースコースなどで、大阪対がん協会の会員の皆様には、割引料金にて受診いただけます。詳細は、当センターにお問い合わせください。

## 検診の申し込みは 電話で

大阪府医師会保健医療センター 電話 **06-6768-1450**

受付時間：月曜日～金曜日(祝日を除く) 10時～12時 13時～16時

※「大阪対がん協会のがん検診希望」と言ってお申し込みください。  
後日、ご自宅に受診票をお届けいたします。